

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	生涯学習
日 時	令和6年1月9日(水) 14:00 ~ 16:00
場 所	地下オンラインブースほか(藤沢顧問はオンラインでの参加)
出 席 者	藤沢市政顧問 小紫市長、原井教育長 八重生涯学習部長、清水生涯学習課長、井川生涯学習課課長補佐 西野図書館長、西スポーツ振興課長 増田企画政策課企画官
主な意見 (概要)	<p>○生涯学習施策の概要及び取り組み状況を説明。</p> <p>○顧問の主な意見(コメント)は以下のとおり。</p> <p>●若年層を対象とした取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中高生を対象とした「未来を生き抜く力」の養成の取り組みに関しては、デンマークのエフタスコーレの取り組みを研究してみるとよいのではないかと。短期間でもいいので、合宿のようなプログラムがあればよい。</li> <li>・今の子どもはフィジカルにタッチされる機会が少ないと聞く。運動すると身体が触れ合うので、それにより生まれてくる信頼感、人間を信じる力、頼る力というのも実は未来にとっては重要なので、スポーツをどう取り入れていくかはとても大切だと思う。</li> </ul> <p>●生涯学習における効果測定方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広に考えると、学んだ人がどれくらい地域に貢献したのかを測っていくことだと思う。方法は何種類もあるが、例えば市民が学んだことを活かして、子どもや市民に何かを教え、良い評価を得たらポイントにするなど、そういうものを定量化し集計しておくだけでも、どれだけの市民が地域貢献したというデータは取れるし、ポイントを増やす人が年々増えているというのも成果と言えるかもしれない。</li> <li>・生駒市では、いろいろな学びの仕組みを既につくられているので、例えば学んだことをWeb上で紹介、発信して市内外の人から「いいね」をもらうというのも測定の一つになる。「いいね」の数は本人のモチベーションにも繋がるし、市として統計を取って</li> </ul>

	<p>いくと市民、または市外の人にとって何が面白いことなのかが見えてきて、今後のいろいろな取り組みの参考になるかもしれない。</p>
--	--